



庄内たがわ農業協同組合

～令和5年度 企業説明会編～

JA庄内たがわのご案内

・愛称は「JA」です

ジャパン・アグリカルチャル・コーポラティブ

正式名称は「農業協同組合」。日本の農業協同組合【Japan Agricultural Co-operatives】の略です。

・JAを構成する人々

- ① 正組合員: 農家さん等
- ② 准組合員: 地域の人々

・全国規模で事業を展開

単独のJAだけでは事業を完結できない事業を遂行するため、あるいはスケールメリットを生かすために、JAは全国段階に連合組織を形成し、「JAグループ」として全国で事業を展開しています。

庄内たがわ農業協同組合の誕生



庄内たがわ農協は、鶴岡市や庄内町合併前の旧町村単位の近隣8農協が、平成7年に合併して誕生した**広域合併農協**。

主な事業所は、本所・温海・新余目・立川・藤島・三川
羽黒・櫛引・朝日 の9支所。

日本海や出羽三山など、雄大な自然に囲まれた管内では、**多種多様**な季節の農産物が収穫できる。

そうした環境を活かし、地元食文化の再発掘、安全な食生活を提案しながら「食の都庄内」としてのブランドづくりをすすめている。



協同組合とは？

株式会社との違い	協同組合	株式会社
目的は	組合員の方々の生産や生活を守り、向上させるための相互扶助(非営利目的)	利潤(利益)の追求
出資者は	事業を利用することを前提に、必要な資金を出資する。(組合の設立・加入)	利用を意識せず、配当を期待して出資する。
経営者は	組合員が自ら経営にあたり、必要に応じて組合員以外の役員への委任、職員の採用をする。	出資や利用の有無にかかわらず委任される。
組織者は	農業者、漁業者、勤労者、消費者など(組合員)	投資家、法人(株主)
利用者は	組合員(出資者)、経営者 事業利用を通じた組合員へのサービス。	不特定多数 利益金の分配を通じた株主へのサービス。
運営方法	正組合員一人一票制(民主的運営)	一株一票制(保有株による運営)

■ JA庄内たがわの現況 (令和5年3月31日現在)

①組合員数

(単位： 人)

正組合員数		准組合員数		合計
個人	法人	個人	その他	
10,897	90	6,655	903	18,545

②役員数

(単位： 人)

理事		監事		合計
常勤	非常勤	常勤	非常勤	
4	19	1	5	29

③職員数

(単位： 人)

	正職員・准職員		臨時職員		合計
	男性	女性	男性	女性	
一般職員	122	106	35	89	352
営農指導員	20	1	2	0	23
生活指導員	0	6	0	3	9
合計	142	113	37	92	384

私たち庄内たがわ農協が目指していること

基本理念

私たち庄内たがわ農協は、地域の^{みのり}人々と共に「豊かな農」「豊かな生活」「豊かな大地」^{くらし}を実現するため、つねに期待と信頼に^{つち}応える、新たなJAを目指します。

経営指針

1. 自然との共生を図り、安全な農産物を提供します。
2. 地域農業の活性化と魅力ある農業経営を追求します。
3. 地域・利用者からの「声」を大切にし、満足度の高いサービスを提供します。
4. 夢を描き、未来を担う人づくりをすすめます。
5. 公正で誠実な事業を展開し、組織改革を行い、経営を健全化します。

私たちの事業が向かう先 ～長期基本構想～

①豊かな農(みのり)

みのり

夢ある農を創造し、人と地域の活性化を実現します。

1. 営業力の強化と生産コストの低減に取り組み、農業者の所得を増大させます。
2. 新たな担い手の育成と地域の担い手を支援します。
3. 新たな強い営農基盤を築き、地域農業を発展させます。

②豊かな生活(くらし)

くらし

地域の営農と生活を支え安全で豊かな地域社会の実現に貢献します。

1. 地域に根ざしたふれあい活動を通じ、心豊かな暮らしを提供します。
2. 組合員・利用者目線に立ち、地域の暮らしをトータルサポートします。
3. ゆとりと生きがいのある暮らしを提供します。

③豊かな大地(つち)

総合力を発揮し、人と地域に寄り添う「JA庄内たがわ」を実現します。

1. 総合農協の機能を最大限発揮し、利用者満足度の向上を図ります。
2. JAを地域の拠り所とし、組合員とのつながりを深め、組織基盤を拡充します。
3. 農(みのり)と生活(くらし)の実現のため、経営基盤を強化します。

私たち職員が意識するもの ～行動指針～

1. 私たちは、明るい笑顔と心のこもったあいさつからはじめます。

笑顔は、相手に親しみやすさを感じさせます。あいさつは、コミュニケーションをとる上で重要なことです。私たちは、この2つを常に心がけ、全ての仕事に取り組みます。

2. 私たちは、「一人ひとりがJAの顔」という意識を持ち、誠実で責任ある行動をします。

お客様からみれば、JA職員の一人ひとりがJAの顔です。そのことを自覚し、誠実で責任ある行動をします。

3. 私たちは、社会の一員として地域の活動に参画し、ともに発展を目指します。

JA庄内たがわの役職員は、地域社会の一員として、地域活動に積極的に参画し、地域の人たちとともに発展をめざします。

4. 私たちは仕事の質を高めるため、自己研鑽に努めます。

常に向上心をもって自己研鑽に努め、仕事の質を高めます。

5. 私たちは、知恵を出し汗を流し、活力ある職場を作ります。

職場内ではチームワークを大切にしながら、お互いに知恵を出し合い、汗を流し、連携のとれた活力ある職場をつくります。

庄内たがわ農協が行っている事業の概況

■ 信用事業 《銀行のように資金をサポートする》

JAでは銀行のように農家の方々から貯金を受け入れ、資金の貸し付け、為替の取扱いを主な事業とし、手形の割引、債務の保証、債券等の取扱いをしています。具体的には、農家の方がビニールハウスを建てたり、トラクターやコンバイン等の農業機械を買うときの資金のサポーターの役割を担っています。

愛称は 「JAバンク」

最近では、JA・信連・農林中金・が行う全国規模の信用事業のことを言います。

※信用事業残高

(単位： 千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
貯金	115,018,635	115,369,836	112,235,064
預金	69,301,346	67,548,251	63,718,513
貸出金	29,852,717	32,368,791	32,858,273
有価証券	6,153,030	6,227,280	6,152,390



■ 共済事業 《保険会社のように人・家・車を守る》

JAでは、火事、地震等の災害や、交通事故にあたり、大きな病気にかかったりした時に困らないよう、資金をプールしておき、困ったときに困った人が使える保険や年金のような仕組みがあります。この仕組みは農家（農協の正組合員）でない人も利用できます。

愛称は 「JA共済」 (単位：千円)

※長期共済保有高	令和4年度
終身共済	135,308,512
定期生命共済	3,432,400
養老生命共済	42,691,813
医療共済	2,814,850
がん共済	291,000
定期医療共済	377,800
介護共済	1,818,767
年金共済	13,000
建物更生共済	226,632,522
合計	413,941,034



生活指導・福祉介護事業

《地域の人たちや高齢者の生活の手助け》

・地域に暮らす人たちが健康で幸せな生活ができるような活動を行っています。

★主な活動

- ・畑の作物の育成講習会
- ・地元の作物を使った料理教室
- ・運動不足解消のための体操サークル



JA庄内たがわ 福祉介護支援センター
『 えがお デ あいと 』

★介護事業

平成27年からの訪問介護事業
平成30年からは通所介護事業
高齢者でも安心して暮らせる環境のお手伝い



■ 営農指導事業

《農産物づくりの相談に乗る》

JAには営農指導員という地域の農家さんの相談、農業技術の指導を行う農業のスペシャリストがいて、日々、美味しく安全な農産物の「作りかた」や「家畜の育て方」などについて農家さんのサポーターとして、地域の農業を支えています。

例えば…

お米や野菜、果樹を育てるとき

- ・ 一年間の農作業の計画を立てる
- ・ どのような土づくりをしてどんな品種をいつ植えるか
- ・ 水はどのくらいやるのか
- ・ 病害虫の被害を受けないためには…等

農家さんに寄り添い、一緒に考えていきます。



■ 販売事業

《農家さんが作ってくれた農産物を売る》

仕事内容として

- ・農家さんが作ってくれたお米や野菜、お肉などを集め、まとめて市場に出したり、食品量販店や食品加工会社にも販売しています。
- ・最近では、消費者に直接販売する割合が増えてきています。

JA庄内たがわが運営する 初の産直施設

『産直 んめ農マルシェ』

会員である生産者が出荷した地元の特産品をはじめ、野菜、果実、庄内米、農産加工品等、新鮮な農産物がずらりと並び、お買い物客でにぎわっています。



■ 購買事業

《必要なものを農家の代わりにまとめて買う》

農作業に必要な肥料や農薬などの生産資材、農機具、薬などの生活用品をまとめて購入してから、各農家の方々に販売しています。

まとめて購入することで、農家に必要なものが安く仕入れられ、普通より安く提供できるようになります。

※購買品供給高	令和2年度	令和3年度	令和4年度
生産資材	3,468,243	2,801,670	3,844,257
生活資材	340,188	-	-
合計	3,808,431	2,801,670	3,844,257



■ 管理業務

《縁の下の力持ち》

・総務部

定期的に行われる総代会、理事会等の各会議、委員会の運営や各種イベント庶務関係の業務を担っています。

・経営企画部

企画課：経営の基本方針に関する事や、経理、システムなどの業務を統括します。

人事教育課：職員の採用や教育研修、福利厚生、労務管理等に関する事などを担当します。

・監査室

法令等遵守の確保や事務処理の適正性、効率性の向上などを検証します。

・リスク管理室

業務を行う上での様々なリスク管理に対応し、不正や不祥事等の未然防止に努めます。

庄内たがわ農業協同組合

〒999-7611

山形県鶴岡市上藤島字備中下3-1

TEL 0235-64-3000 (代表)

FAX 0235-64-5742

HP <http://www.ja-shonai.or.jp>
